

討議資料

県議会報告



質問
補正予算300億円のうち、コロナ対策はわずか17億円、一方公共事業には220億円が計上されています。査定が甘くなる補正ではなく、必要な事業は当初予算に計上すべきです。

背景や問題点
国、地方を通じて、補正予算は無駄の温床と言われ、山口県でもその傾向が見られます。こうした予算編成の問題点やコロナで苦しむ事業者への支援のあり方を質しました。

令和3年度 予算案

県民生活への配慮薄い



コロナ対策、産廃処分場建設計画などを取り上げましたので、主な内容をご説明します。詳細は、井原すがこのホームページやブログをご覧ください。

山口県議会2月定例会（2月22日～3月12日）では、コロナ関連のPCR検査の強化、ワクチン接種・医療体制の整備、また行政のデジタル化の推進などを盛り込んだ新年度一般会計予算案（約7千500億円）、2月補正予算案（約300億円）、各種条例案、人事案件（教育長の任命）など79件が可決されました。

私の一般質問では、予算編成や

質問
応援の意味もあって中心街のレストラオンなどへ時々でかけますが、どこも依然として厳しい状況です。基地交付金を使って、飲食店などへの特別な支援を行

答弁
当初予算、補正予算に関わらず適切に査定し予算計上したところであり、この予算を通じて、コロナ対策や防災・減災など、本県の安全・安心の確保を図ります。

答弁
地元市町から要望がないので、基地交付金を活用して飲食店への給付などの支援を行うことは考えていません。



コメント

プレミアム宿泊券やフェリー券などには多額の予算が計上される一方、他の事業者支援は十分ではありません。要望がなければやらないという消極姿勢ではなく、非常時に基地交付金（50億円）という特別な財源を活用しない手はありません。岩国市からも早急に要望を出すべきです。

お断り
コロナ感染防止のため、地域を限定して小規模な開催とします。ご了承ください。



第6回

すがこと話そう！

日時 4月22日（木）
10時～11時
場所 美川町コミュニティセンター
広中英明市議参加

一般質問の動画がパソコンで見られます
山口県議会事務局ホームページ
⇒ インターネット中継 ⇒
発言者から選ぶ ⇒ 井原 寿加
子選択

右のQRコードからも視聴できます



一般質問項目

（2021年3月4日）

- 1 新年度予算案
- 2 新型コロナウイルス対策
- 3 介護サービスの確保
- 4 産業廃棄物処分場建設

早急なワクチン接種実施を

や点 背景問題

感染の兆候を早期に把握するために、高齢者施設職員や無症状者に対するPCR検査の活用が各地で始まっており、それに対する山口県の考え方、また、ワクチン接種の実施方針など、今後のコロナ対策を質しました。

答弁

高齢者施設職員への積極的検査は、感染の早期発見に有用であることから、感染の有無に関わらず、各施設に対して自主的に検査するよう求め、その経費を補助しています。

答弁

市町で、会場選定や日程調整などワクチン接種計画の策定を行っています。また、高齢者施設職員への優先接種については、市町の接種計画の中で考えていくべきものです。



質問

感染拡大地域では、高齢者施設職員の集中的検査が計画されていますが、本県でも、感染の再拡大、クラスターの未然防止のために、高齢者施設職員に対して定期的なPCR検査を実施すべきです。

質問

高齢者などに対するワクチン接種の実施方法や対象となる高齢者の選定

のコメント

「偽陽性が出るから」と検査に消極的だった県も、ようやくその有効性がわかってきたようであり、

方法などを教えてください。また、クラスター防止のために、高齢者施設職員に対するワクチン接種を優先的に行うべきです。

無症状者に対するPCR検査の積極的実施を働きかけていきます。また、介護サービス従事者に対するワクチンの優先接種については、他人ごとの答弁であり、県のやる気が全く見えません。

産廃処分場はだめ!

岩国市本郷町に再び起こった産業廃棄物処分場建設計画について、反対の立場で一般質問をしました。県の許可に関しては、処分場の安全性や資本金などと共に、地元自治会長や住民の方々の承諾の有無が、審査過程で重視されるとの答弁がありました。清流錦川の源流ともいえるこの場所に、ゴミ捨て場を造ることは、絶対に許されません。



岩国市・和木町選挙区初の女性県議として議会へ送っていただき3期目の折り返しとなり、振り返ると早くも10年が過ぎました。この間、公約の「政務活動費の辞退」と「県政の報告」は費いてきました。これからもこの姿勢は変えません。

議会報告10年になりました

岩国市・和木町選挙区初の女性県議として議会へ送っていただき3期目の折り返しとなり、振り返ると早くも10年が過ぎました。この間、公約の「政務活動費の辞退」と「県政の報告」は費いてきました。これからもこの姿勢は変えません。

傍聴席

弁に腹立たしさが増してきました。これが県知事としての政治姿勢の表れか。選挙においても、与党知事候補・与党県議会議員ということだけで、投票するのでは大事な選挙権を無駄にしてしまいます。候補者個人の政治姿勢を見定め、大事な一票を投じ、県政を変えなければ豊かな暮らしは送れません。
(60歳代 錦町 男性)

答弁が酷い!

政治姿勢を見定めて

議会の度に、できるだけ傍聴をしています。知事や部長の言葉を聞いて、いつも感じることは、「これが県民の負託を受けた県会議員への答弁なのか!」ということ。井原議員の再質問・再々質問に対する答

井原すかご後援会事務所
電話 0827-21-9808